

市内の私立高校で自衛隊制度説明会 「防衛大学校の訓練に興味津々」

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 陸尉）は、7月11日（土）横浜市私立聖光学院高校で自衛隊制度説明会を実施した。これは学校から防衛医科大学校と防衛大学校の制度説明の依頼を受け実施したものである。当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため分散登校中であるにもかかわらず7名の学生が参加し、ソーシャルディスタンスを保って説明を行った。当高校にとって両大学校の認知度は決して高いとは言えないものの参加者の反応を見ると、事前に調べて説明会に臨んでいる様子が見えた。それぞれの訓練の話になると特に興味を示し、真剣な眼差しで聞き入っていた。最後の質疑応答では「2年次の学科はどのように選んだらいいですか？」と気持ちは既に防大の入学後におよび、真剣に自衛隊への入隊を考えている様子だった。

横浜中央募集案内所は「学校での説明会を積極的に実施し、対象者を受験から入隊まで丁寧に導き、募集成果向上を図っていききたい」としている。



自衛隊制度説明会の様子（説明は所長）

UH-1 ヘリコプターの体験搭乗で募集対象者等を案内 「初めての感覚を味わえて楽しかった！」

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 陸尉）は、7月11日（土）陸上自衛隊東部方面ヘリコプター隊（立川）が実施する体験搭乗に募集対象者を案内した。これは「自衛隊に対する理解を得ることと防衛基盤の拡充を図る」ことを目的に実施され、神奈川地方協力本部から約40名が参加した。受付でマスク着用の確認や手洗い、検温などを済ませ担当から全般説明や安全教育等を受けた後、フライトが始まった。始めはやや不安そうにしている対象者も見られたが、約10分間の搭乗を終えると「貴重な体験ができました」「ヘリの上下動に初めての感覚を味わえて楽しかった」などの感想が聞けた。

横浜中央募集案内所は「今年は感染症対策のため、このような体験の場は少ないが、今後もあらゆる機会を通じて自衛隊を紹介し理解を得るとともに、受験率向上を図っていききたい」としている。



参加した対象者家族と対象者、広報官の廣森 1 曹